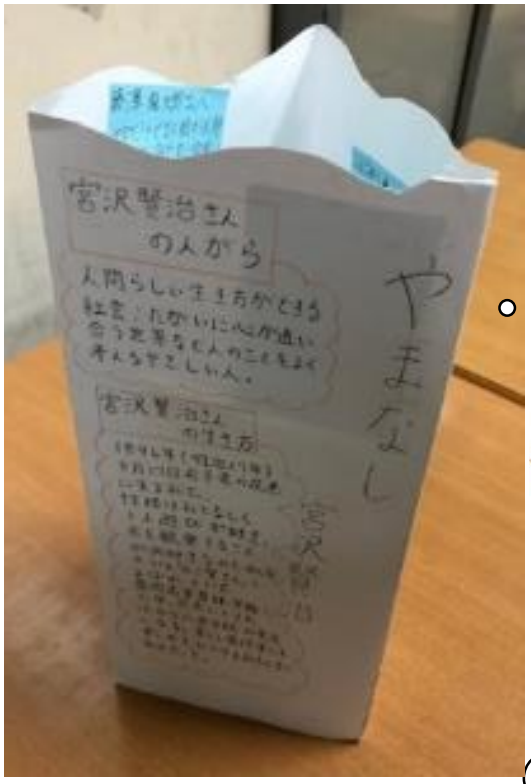
【学習過程の工夫】の手だて

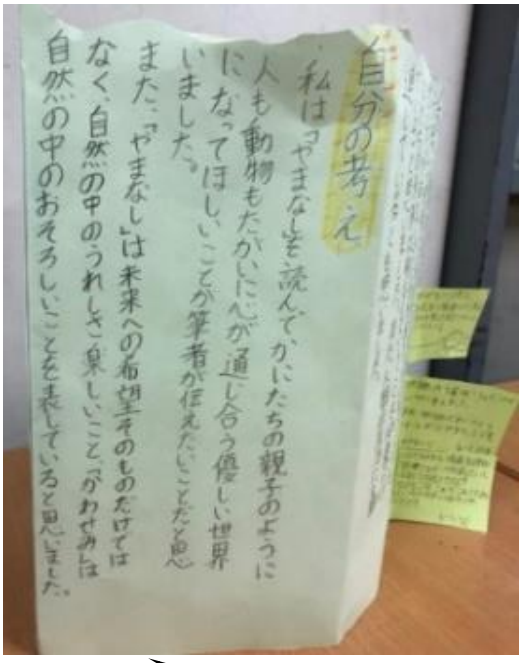
友達の視点が分かり、深まる付箋による交流！

６年　やまなし　イーハトーヴの夢

- ゴールを「『やまなし』を紹介するパンフレットを作ろう～作品と世界をとらえ、自分の考えを書こう～」と設定した。
- 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりして自分の考えをまとめた。
- 根拠となる文を本文から抜き出して書き、それを選んだ理由を書き、三角柱のパンフレット作りをした。
- ①対比②作者の考え③独特な表現を視点として挙げたことで、自分の考えを色々と表現することができた。



宮沢賢治さんの人のために何かをするという考えがすごいなと思った。私も小さいことでよいから人のために何かをする人生にしたい。



かにの親子のように人も動物も互いに心が通じ合う優しい世界になってほしいことが筆者の伝えたいことだと思いました。

はじめは、「すごい変わった表現だな。」としか思わなかったけれど、学習を通して、筆者の過去や考えが含まれているのに気付きました。

パンフレットを友達と読み合い、伝え合い交流した。自分の考えと比べる・違うけれど納得する考えだというように視点を明確にして、付箋に書いて相手に伝えるようにした。